

< 芸術 >科 学習シラバス

科目	音楽Ⅲ	学年・コース	3年生 スポーツ&カルチャー	単位数	2単位	教科書	Joy of Music (教育芸術社)			
学習の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱や器楽、創作の表現活動を通して、発展的な技能を身に付けるとともに、表現する楽しさを味わう。</li> <li>・楽譜についての知識を身に付け、読譜能力、記譜能力の向上を図る。</li> <li>・鑑賞の活動を通して、楽曲のよさや美しさを文章にして表現したり、批評する能力を身に付ける。</li> </ul>								
評価の観点	A 関心・意欲・態度	B 音楽表現の創意工夫	C 音楽表現の技能	D 鑑賞の能力						
評価の内容	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、音楽表現や鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表現している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。						
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加姿勢や態度</li> <li>・予習や復習、課題への取り組み状況</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動での表現内容</li> <li>・実技テスト</li> <li>・創作活動での作品</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動での表現内容</li> <li>・実技テスト</li> <li>・創作活動での作品</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・ワークシート</li> <li>・レポート</li> </ul>						
学期	月	単元名・小単元名	学習の指導内容				評価の観点			
							A	B	C	D
1 学 期	4	正しい発声法を身に付けよう ○時代 ○初恋 ○霧と話した	親しみやす歌唱曲の学習を通して、歌うことの楽しさを味わいながら1年間の音楽学習への意欲を養う。また昨年度学習した基本的な歌唱法の復習を行う。				○	○	○	
	5	リズムに親しもう ○You can do it ○ソルフエージュ	リズムの働きに着目した声や身体による表現活動を行い、音楽におけるリズムの働きを知覚感受し、音楽表現を工夫する。				○	○	○	
	6	ルネサンス・バロックの音楽 ○アヴェマリア ○ガリヤード ○ハレルヤ	楽曲の文化的・歴史的背景や楽曲分析などから、楽曲の表現の特徴を理解するとともに、批評活動を通して主体的に鑑賞する。				○			○
	7	批評文にチャレンジ	夏休みの課題レポートの事前学習として、資料の調べ方、批評文、解説文の書き方を知り、音楽を文章や言葉で伝える工夫をする。				○			○
2 学 期	8・9	童謡の弾き歌いに挑戦 ○めだかの学校 ○どんぐりころころ ○とんぼのめがね ○いぬのおまわりさん	童謡の表現内容を総合的に理解し、人に聴かせたり、いっしょに歌ったりするために、余裕をもって弾き歌いをする。				○	○	○	
	10	オペラ、オペレッタ、ミュージカルに親しもう。	オペラ、オペレッタ、ミュージカルの特徴を理解するとともに、その中で歌われる楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって歌う。				○	○	○	○
	11	古典派、ロマン派の音楽 ○子どもの情景 ○展覧会の絵	楽曲の文化的・歴史的背景や楽曲分析などから、楽曲の表現の特徴を理解するとともに、批評活動を通して主体的に鑑賞する。				○			○
	12	表現意図をもって音楽をつくらう	手を叩いたり、体をこすったり、音色や奏法などの工夫を凝らして、物語を表現する音楽を創作し、グループで発表する。				○	○	○	
3 学 期	1	3年間のまとめのコンサートを開こう ～よりよい表現を目指して	様々な表現形態による歌や器楽曲、自ら創作した作品の中から、個人またはグループで楽曲を選択し、表現意図をもって個性豊かに演奏、発表する。				○	○	○	○
	2									
	3									
学習のポイント		<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽典の知識をしっかりと身に付け、読譜力、記譜力を鍛える。</li> <li>・ワークシートや創作課題、レポートを確実に仕上げる。</li> <li>・表現活動の際は積極的に活動し、技能を身に付けるだけでなく創意工夫を生かした表現を心がける。</li> </ul>								